



2014年7月

## テクノスマイル人材開発部ベトナムレポート

テクノスマイル人材開発部では、2015年新卒の「日本語の出来るエンジニア」の採用試験を実施し、25名のベトナム人材を選抜しました。

### 志高く、日本語レベルはN2～N3



提携校では日本語および日本式のマナー教育を主にしていますが、入学してくる時点で日本語を勉強している学生も1/3程度います。面接時点での日本語能力はそれほど高くないものの提携校で日本語に磨きをかけ、N2～3レベルで日本へ入国します。ベトナム国内では理工系大学の卒業生がスキルを生かして働ける仕事はまだ多くないため、日本の会社に就職し、大学で学んだ知識を活用して、さらにスキルに磨きをかけたいという志を持った人材が多いように感じました。

### 建築系6名、機械系16名、IT系3名を選抜

特に今回の面接で印象的だったのは、大学で“橋梁”を学び日本の優れた建築技術を学びたいという学生。

彼は、東日本大震災があった際、建築物が津波の被害で崩壊したものの地震の影響はそれほど受けていなかったということを知り、驚き感銘を受けて日本の建築技術に関心を持ったといいます。また、日本が現地でトンネル建設を支援したことなどを受け、将来はベトナムの力でトンネルの建設ができるよう日本のトンネル技術を学びたいという建築系の学生もいました。今回採用となった25名の内6名が建築系の人材で、機械系が16名、IT系が3名という結果になりました。

### 面接官が見たベトナム人材

○素直で謙虚、家族を大事にする人が多い

○欧米志向の強い他国に比べ、ベトナムでは日本志向の人が多く、日本に良い印象を持っている。日本のイメージについて質問したところ、「スーパーで買い物をするときにきちんとレジに並ぶ」、「ワールドカップの時に客席のごみ拾いをしていたのにビックリした」、「警察がいなくても交通ルールを守る」など日本の秩序正しい部分に驚き好印象を抱いている様子だった。